

[ 横浜にぎわい座 ]  
 平成 29 年度業務報告及び収支決算  
 [ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]

※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。  
 ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

【目指す姿、果たすべき役割】

第三期指定管理の5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。

第三期2年目である29年度も第二期の課題であった支出超過、特に4年間にわたり事業収支が赤字であったことへの改善に積極的に取り組みました。また、落語をはじめとする伝統文化や大衆芸能への市民の皆さんの関心の高まりや期待に応える連携の取り組みも年間を通じて推進しました。大衆芸能の鑑賞機会提供の場としての役割に加え、大衆芸能を使って地域社会と関わるが増え、専門文化施設としての役割を発揮することができた1年となりました。

## (2) 29年度の業務の方針及び達成目標の総括

第三期提案で示した基本的な方針及び業務計画を着実に実行することで施設、事業を安定的に運営します。第二期の課題であった収支問題は順調に改善しています。

公演の内容は、より企画性が高く、にぎわい座オリジナルのものが増え、新たな魅力づくりにつながりました。事業収支は収支差額 16,908 千円で大幅に増額しました。

施設運営の実績（利用率、利用料金収入）は昨年度に比べて改善はしたものの、目標には達しませんでした。また光熱水費の値上がりと修繕費が昨年度から 20%以上増加したこと、消費税が増額になったことなどで支出が増加しました。

### ① 文化事業について

毎月 1～15 日の経常公演と、若手育成公演を中心とした小ホール公演を基本として全 252 公演を開催しました。「名作落語の夕べ」のリニューアル、「横浜にぎわい寄席」での区民優待デーの実施などに積極的に取り組み、新たな落語ファンの創造や販売促進に取り組みました。

企画公演では、平日昼の「三遊亭円楽独演会」「日本演芸家連合まつり」「ぱっちり倶楽部寄席」や偶数月日曜昼の「林家たい平独演会」で落語初心者をはじめとする幅広い落語ファンの獲得を実現しました。また柳家小三治、立川志の輔、柳家三三、柳家権太楼、柳家さん喬、五街道雲助、古今亭志ん輔、立川生志、桃月庵白酒などの独演会を開催することで、にぎわい座を支える落語ファンのニーズに応えました。さらにこれらの独演会は、後進の落語家や演芸人の目標になっており、多くの落語家や演芸人から「にぎわい座で独演会を行いたい」「にぎわい座の舞台に立ちたい」というお声をいただくほどのステータスの維持につながっています。

小学生のための「寄席体験プログラム」や教育プログラム、横浜遠足での寄席体験など、こどもが大衆芸能を通じて日本の文化に触れる公演も数多く実施しました。

展示事業では、恒例の「中嶋修展」のほか、「黄金町バザール 2017」「干支の絵展」など全 12 事業をアート NPO や市民団体との協働も含め開催しました。

個人の市民サポーター活動については、モニタリングやチケット販売協力に加え、来年度のアウトリーチ公演の準備を行うことができました。

### ② 施設運営について

主催公演前後の時間帯の貸出しや撮影利用には柔軟な対応を行いました。貸館での新サービスの実施については、貸館時の表方スタッフの配置を実施しましたが、その他は検討に留まりました。利用率、利用料金ともに昨年度を上回ったものの、目標は達成することはできませんでした。

人事に関しては、大衆芸能の専門家であるチーフプロデューサーを中心に事業担当チームを組み、若手職員の事業提案も採用しながら企画力を高めています。接客能力の高い表方チーフは 1 名新規採用し、接遇ノウハウの蓄積を図るとともに、職員の負担を軽減しました。

### ③ 施設管理について

経年劣化による故障などが引き続き多発しましたが、速やかに対応して利用者・来館者に影響が出ないように努めました。5～2 月にかけてビル全体の大規模修繕が行われました。

### ④ 収支について

自主事業費収入（入場料、貸切公演料ほか）が大幅に増額となりましたが、利用料金収入の目標未達成、光熱水費の値上がりによる支出増があり、全体としては 1,641 千円の赤字となりました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 文化事業について

ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

[目指す成果]

- ・毎月1日から15日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。28年度にリニューアルした寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にもアピールして、観客数の増加に繋がります。
- ・同じく定番公演の「名作落語の夕べ」も公演内容を改訂し、内容の充実と観客創造を図ります。
- ・歌丸館長の目指す「垣根なく誰もが出られる演芸場」として、所属団体・流派に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民の大衆芸能に対するニーズに応える公演を開催します。
- ・同じく「将来の名人を育てる道場」として若手育成の取り組みを継続的に実施します。
- ・学校等と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。
- ・開場15周年を記念し、祝祭感と話題性のある公演を行います。若手育成など開館以来力を入れてきた取組みの成果の披露も織り交ぜて発信します。

[成果についての振り返り]

- ・「横浜にぎわい寄席」では区民優待デーや団体誘致を積極的に行った結果、今年度も販売数が増加、またその中で「こども寄席」を年2回に増やし、こどもたちが大衆芸能に親しむ機会を増やしました。
- ・今年度リニューアルした「名作落語の夕べ」は、「上方落語会」を連動させて東京落語と上方落語で共通する演目の聴き比べを行うなど、内容面でも新機軸を打ち出し、チケット販売数を大幅に増やしました。
- ・その他の企画公演も、「桂米團治独演会」「南光・南天ふたり会」「西のかい枝・東の兼好」「桂雀三郎・春風亭昇太 雀昇ゆかいな二人」など上方落語の公演を積極的に開催し、「関東で上方落語を聴くなら、にぎわい座」と呼ばれるようになっていきます。
- ・若手育成公演「登竜門シリーズ」は3つの新シリーズを開始しました。「名作落語の夕べ」に二ツ目を抜擢するなど出演の機会も増やしました。
- ・学校連携は、従来からの「教育プログラム」「寄席体験プログラム」(小学生対象)に加え、市立中学校や県内私立中学校の要請に応えた寄席体験や横浜遠足での落語鑑賞会を実施しました。横浜能楽堂との連携事業「狂言と落語で楽しむ『宗論』」などで、演芸ファン以外の市民の来館も促しました。
- ・4月から7月の全80公演に「開場15周年記念」と冠し、華やかな記念公演を開催しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施</p> <p>経常公演事業</p> <p>① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催。</p>	<p>□年間200公演以上開催。</p> <p>□合計入場者 月平均3,185人以上。(寄席、名作、企画公演合計)</p>	<p>□年間217公演開催(うち3公演は16日以降)。</p> <p>□合計入場者 月平均4,060人(年間48,724人)</p>

<p>② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容。</p> <p>●「横浜にぎわい寄席」(毎月7回) 落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。学割や子ども料金をPRし、新しい観客を招きます。</p> <p>●「名作落語の夕べ」(毎月1回) 古典落語を4人の真打がネタ出しで口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演。</p> <p>●企画公演(毎月8回程度) 落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催。</p>	<p>■団体鑑賞をPRするタイアップ企画の実施。</p> <p>□チケット販売枚数平均100枚以上。</p> <p>□「こども寄席」を年間2回開催。</p> <p>■四月興行からリニューアル。出演者の幅を広げ、企画性の高い公演に改訂。チケット料金と販売方法も変更し、集客の改善を図る。</p> <p>□チケット販売枚数平均110枚以上。</p>	<p>■リニューアル2年目。街コン(6/4、9/3)企画でタイアップ。若い初来館者を獲得。</p> <p>□全84公演のチケット販売数は合計10,210枚で、一公演平均は122枚(前年度比16%増、目標値比22%増)、売上は15%増。</p> <p>□4月、8月に開催。各286人、387人入場(完売)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県ほか全5区で「区制90周年記念区民優待デー」実施…後掲。</li> <li>・一般販売の他に「銭湯川柳」「横浜10大ニュース」「横浜シニアボランティアポイント」などの特典として招待券を発行し、にぎわい座への初来館を促進するコミュニケーションツールとしても活用。</li> </ul> <p>■「3,600円、前月前売り開始」を『3,100円、2か月前前売り開始』に変更。古典落語ネタ出し四席の基本スタイルを守りつつ、より企画性のある公演にリニューアル。5月「リクエスト落語会」、7月「江戸落語、上方落語聴き比べ&lt;江戸編&gt;」、11月「古典となった創作落語特集」など。</p> <p>□全12公演のチケット販売数は合計1,639枚で、一公演平均は137枚(前年度比30%増、目標値比25%増)、売上は16%増。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーフプロデューサーが公演前に解説実施。</li> <li>・企画公演は、独演会のほか、「春風亭一朝・一之輔親子会」「五街道雲助一門会」「林家正蔵一門会」など人気の高い公演や、春風亭一朝一門による「春風亭三朝真打昇進披露公演」「立川志の八真打昇進披露公演」、ケーシー高峰やおぼん・こぼんといった演芸人による「立花家橘之助襲名披露公演」、尾張万歳、水戸大神楽の獅子舞などによる「新春特選ニッポンの芸!」といった、他の会場では催</li> </ul>
--	--	--

<p>●開場15周年記念事業（企画公演、にぎわい寄席と重複）</p> <p>人間国宝・柳家小三治や柳家権太楼、立川志の輔ら人気落語家による公演をラインナップ。人気噺家の新シリーズのスタートや、毎年夏休みに実施しているこども寄席の春休み期間中の追加実施などで、開場15周年を盛り上げる。</p> <p>◇創造的で発信性のある取り組みの実施</p> <p>①創造・挑戦的な取り組み</p> <p>●企画公演(毎月8回程度)…再掲</p> <p>ネタおろしや新作の発表やシリーズ公演の実施。東京落語と上方落語の比較公演など、にぎわい座ならではの公演を実現。</p> <p>●のげシャレー公演</p> <p>小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コントなどの公演や異色のコラボレーションなど。</p> <p>●近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作</p>	<p>■4～7月に記念事業を実施。</p> <p>■記念の顧客サービスを実施。</p> <p>□4～7月の総入場者数16,000人以上。</p> <p>■演芸の歴史的な変遷を紹介する新しい企画公演を開催。</p> <p>■柳家三三独演会新シリーズ「流れの豚次伝」11回連続公演を開催。チケットのセット販売（抽選方式）を採用し、顧客ニーズに応えるとともにインターネットを利用しない顧客にも配慮。</p> <p>□年間10公演以上開催。</p> <p>■狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル</p>	<p>されていない「にぎわい座らしさ」「にぎわい座ならではの」の公演を揃え、演芸ファンの期待に応えるラインナップで実施。全121公演。</p> <p>■4月13日開場満15年。4～7月の全80公演（小ホール公演含む）に「開場15周年記念」を冠して開催。</p> <p>■「立川晴の輔・三遊亭兼好 二人会」（4/13）で手拭いとオリジナル根付を、「名作落語のタベ」（5/6）で玉置宏前館長のサイン入り著書を抽選でプレゼント。</p> <p>□4～7月の総入場者数16,090人。</p> <p>■「西のかい枝・東の兼好 特集 江戸落語と上方落語の成り立ちを探る」（9/15）、「新春特選ニッポンの芸！」（1/4）の2公演開催。</p> <p>■「柳家三三独演会 流れの豚次伝」11回連続公演を実施。チケット後期5公演セット券を抽選で販売。インターネットのほか往復葉書でも受付。</p> <p>・その他「志の輔 no にぎわい」（6/8～10）でも抽選販売を実施。</p> <p>□「だるま食堂」「コラアゲんはいごうまん・春風亭一之輔 二人会」など全14公演開催。</p> <p>■「狂言と落語で楽しむ『宗論』」（3/10）は、横浜能楽堂の協力を得て開催。同じ演目を落</p>
--	---	--

<p>品の創造。</p> <p><b>◇若手実演家育成の仕組みと実践</b></p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレー」</p> <p>小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演。</p> <p><b>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</b></p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「大人のための寄席体験」</p> <p>寄席の楽しさを知るトーク付きの落語会と演者を囲んでの交流会。</p>	<p>公演を開催（横浜能楽堂と連携）。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施（黄金町バザール2017参加）。</p> <p>□年間20公演以上開催。</p> <p>□入場者数平均100人以上。</p> <p>□経常公演への起用5回以上。</p> <p>□注目の二ツ目落語家の「名作落語のタベ」への抜擢登用。</p> <p>□全公演でのアンケートの実施</p> <p>□市民サポーター等による公演モニタリングの実施4回以上。</p> <p>□2回以上開催、合計参加者140人以上、初来館者60%以上。</p>	<p>語、狂言で上演、相違点やそれぞれの魅力を紹介。演者、チーフプロデューサーによるトークも好評。</p> <p>■黄金町バザール2017参加事業として出前演芸会「ダメじゃん小出の爆笑！にぎわい！大道芸」を、初黄・日ノ出町地区のかいだん広場で実施（10/29、2回公演）。</p> <p>□「登竜門シリーズ」年間20公演開催。入船亭小辰、三遊亭粹歌、東家一太郎の3シリーズがスタート。</p> <p>□入場者 平均94人（年間1,885人）</p> <p>□林家たけ平、三遊亭萬橋、桂三木男、入船亭小辰、三遊亭粹歌をはじめ、10名を15公演に起用。</p> <p>□名作落語のタベ「人気二ツ目抜擢公演」に、柳亭小痴楽(4/1)、立川志の八(10/7)を起用。</p> <p>□250公演でアンケート実施。3,112枚回収し、回収率8%。職員全員に回覧するとともに今年度からにぎわいスタッフにも公開し、お客様の声を知るツールとした。</p> <p>□「横浜にぎわい寄席」来場者計7人に公演後に聞き取り実施。保土ヶ谷区の老人クラブ会長、市内勤務のフランス人、南区在住の初来場者など。2回分の聞き取り内容はホームページ「お客様の声」で公開。</p> <p>□「大人のための寄席体験」は番外編、本公演の2回開催。</p> <p>(1)「落語のトビラ～番外編」</p> <p>11/26に三菱レジデンス倶楽部会員向けに開催。会場：みなとみらい三菱イベントスクエア、出演：春風亭正太郎、布目英一（チーフプロデューサー）、30人参加（100%が</p>
--	---	---

<p>●貸切公演 団体からの要請に基づいて貸切公演を開催。新規顧客を開拓し、リピートに繋げる。</p> <p>◇市民の大衆芸能に関する 学習活動や創作活動支援</p> <p>●寄席文化体験 紙切りや寄席文字など寄席に因んだワークショップや講座型公演。</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」 野毛や周辺の魅力を掘り起こす社会人向けの大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業。</p>	<p>□貸切公演6回以上開催、主催者の満足度4以上。</p> <p>□2 講座以上の開催、受講者 50人以上。</p> <p>■新たに企業との共催でも講座開催。</p> <p>□講座の共催開催 2 回以上、職員の講師派遣 2 回以上、会場提供 3 回以上。</p>	<p>来館未経験者)。</p> <p>(2)「落語のトビラ3～男の古典、女の新作」 3/17、入場者69人(完売)、出演：柳亭市弥、三遊亭粹歌ほか。野毛地区街づくり会の協力を得て、野毛の名物料理を囲んで出演者と観客の交流の機会を演出。42%が初来館者(アンケートから類推)。</p> <p>□市内法人会や県内私立中学校、企業OB会など7回の貸切公演を実施。 主催者満足度は平均4.8。</p> <p>□新規2講座を含む全3講座、74人受講。</p> <p>(1)7/26「野毛山動物園で楽しむ動物ものまね」 講師：江戸家小猫(動物ものまね)、ガイド付ツアーの動物観察とにぎわい座でのワークショップ、11人受講。 〔共催〕野毛山動物園</p> <p>(2)8/14「寄席文字講座」2回実施、 講師：橘右楽、橘右雀、橘紅楽、計33人受講。</p> <p>(3)11/26「落語のトビラ～番外編」 出演：春風亭正太郎、布目英一(チーフプロデューサー)、会場：みなとみらい三菱イベントスクエア、三菱レジデンス倶楽部会員30人受講。〔共催〕三菱地所レジデンス倶楽部</p> <p>□にぎわい座寄附講座(共催)として2回実施、職員講師2人派遣(2回)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/4「横浜にぎわい座を知る～野毛の街の演芸場」 講師：事業担当リーダー</li> <li>・12/18「寄席の楽しみ方」 講師：チーフプロデューサー</li> <li>・会場提供10/16、12/11、1/15の3回実施。「中区の歴史を再現するために」など。</li> </ul>
--	--	---

<p>●バックステージツアー</p> <p>普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介。</p> <p>●アウトリーチ</p> <p>施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。29年度は「高齢者福祉」を重点テーマに、福祉施設やNPOと協働で実施。</p>	<p>□一般向け（子ども向け含む）</p> <p>3回以上、</p> <p>団体向けオンデマンド開催</p> <p>5回以上。</p> <p>□高齢者施設で実施3回以上、</p> <p>若手育成事業の芸人起用3回以上、アウトリーチ先の新規開拓2施設以上。</p> <p>■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施（黄金町バザール2017参加）…再掲</p>	<p>□全10回実施、計245人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども対象(8/6、40人)、一般向け当日参加(3/4、24人)実施。</li> <li>・街コン参加者向け(6/4、9/3、1/14 計67人)、</li> <li>・野毛まちなかキャンパス受講者(12/4、21人)、</li> <li>・オンデマンドとして、私立中学校PTA(10/7、62人)、横浜10大ニュース応募者(2/4、8人)、横浜そごう福袋企画(2/11、4人)、横浜市人事交流職員(11/8、19人)。</li> </ul> <p>□ガッツ・びーと西で「にしよこ寄席」(4/22、8/26、2/24)、宮崎地域ケアプラザで「しあわせサロン落語会」(3/14)を開催し、近隣の高齢者を中心に集客、計4回。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設以外で「銭湯寄席」(9/21 本牧ゆあそび館、3/29 恵びす温泉)、「汐見台ふれあい寄席」(6/11汐見台自治会館)、11/26「落語のトビラ～番外編」(11/26みなとみらい三菱イベントスクエア)。</li> <li>・新規開拓は宮崎地域ケアプラザ、みなとみらい三菱イベントスクエアの2施設。</li> <li>・若手芸人の起用9公演のべ12人。</li> </ul> <p>■社会福祉法人横浜共生会、特定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、社会福祉法人ハマノ愛生会との協働。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サポーターとの新規アウトリーチとして、30年度に栄区での演芸会の準備に着手。</li> </ul> <p>■「ダメじゃん小出の爆笑！にぎわい！大道芸」(10/29 初黄・日ノ出町地区かいだん広場)で実施。</p>
<p>◇子どもの創造性育成の取り組み</p> <p>○寄席体験プログラム(6回)</p> <p>近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共</p>	<p>□参加児童1,800人以上。</p>	<p>□6月と10月の計7日間に渡り実施。浅間台、富士見台、立野、本町、間門、平沼、北方など市立小学校計18校の児童1,615人が参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立津久井浜高校(6/9、229人)、明德学院相洋中学校(小田原市、10/27、46人)、美し</li> </ul>

<p>催事業。</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業。</p> <p>○教育委員会、教育機関との連携事業。</p>	<p>■事業の実施効果を高めるための教員向け講座の事前開催。</p> <p>□コーディネート3校以上。</p> <p>■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした教員向け研修会など。</p>	<p>が丘中学校（2/26、97人）、鎌倉学園（3/13、180人）の貸切寄席体験公演を各校の要請により実施。合計参加生徒552人。合計2,167人。</p> <p>■教員向け講座は未実施。</p> <p>□鶴ヶ峯小、篠原小、平戸小、日野南小、荏子田小の計5校で実施。7日間で855人が落語や演芸の鑑賞や体験を行った。</p> <p>■教育委員会「はまっこ未来カンパニープロジェクト」として、境木小学校（戸塚区）で三遊亭わん丈による落語指導2回（12/4、1/16）。 ・この他、本町小学校、笹下中学校の校外活動に協力。</p>
---	--	--

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。</li> <li>・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識したデザインや使用ツールを選択し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。</li> <li>・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、近隣学校やNPO等との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。</li> </ul> <p>[成果についての振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主、他館の公演チラシを分かりやすく配架しました。また今年度も多くの相談や問い合わせに対応しました。落語がメディアに取り上げられる機会が多かったこともあり、新聞社からチーフプロデューサーへの問い合わせが目立ちました。</li> <li>・「名作落語の夕べ」はホームページに特集ページを作成し、前パブ・後パブを行いました。また他の公演も担当者が終演直後に公演の様子をSNSで発信し、舞台の感動と余韻を伝えました。</li> <li>・展示事業では、近隣施設、NPO、市民団体との共催（野毛山動物園写真展、黄金町バザール2017展、干支の絵展）など市民協働のもとに開催し、多くの観覧を得ました。開場15周年記念事業の展示を含め、全12展示を行い、通年で情報コーナー、展示コーナーを活用しました。</li> </ul>		
<p>[取組内容]</p> <p>情報収集および提供</p> <p>●公演情報の収集</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■より分かりやすく手に取りやす</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■老朽化した大看板を更新、エントランスで</p>

<p>大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架。</p> <p>●公演記録の活用 過去の公演記録を活用し、大衆芸能のアーカイブ化と継承に活用。</p> <p>●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応。</p> <p><b>広報</b></p> <p>●広報、ホームページ、情報発信 チラシ、ポスター、ホームページ及びSNS等により、公演情報を提供。</p>	<p>い配架方法に変更。</p> <p>■チラシラックには「スタッフのお勧めコメント」を付けて、親しみやすさを付加。</p> <p>□電子大福帳にすべての公演情報を入力。年間 200 件以上。</p> <p>■「名作落語のタベ」過去 186 公演分の上演演目をホームページ上で公開。</p> <p>■自主事業で特にアーカイブ化が必要とされる公演を選定し、映像を公開。</p> <p>□催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネーター業務 20 件以上。</p> <p>■チーフプロデューサーを中心に大衆芸能に関するレクチャー、授業を実施。</p> <p>□WEB 会員を対象に、メールマガジンを年間 12 回以上配信。</p> <p>□Twitter を年間 400 回以上配信。</p> <p>■Twitter は公演や開館案内だけでなく、地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識など多彩な内容で配信。</p> <p>■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合</p>	<p>のポスター掲出に活用</p> <p>■チラシラックに手作り POP を作成。エントランスの大看板を利用し出演者の掲載新聞を掲示。</p> <p>□電子大福帳にすべての公演 255 件（貸切公演も含む）入力完了。</p> <p>・「名作落語のタベ」ホームページ上に特集ページを作成。29 年度公演について、今後の公演のみどころ、終了した公演のアーカイブを掲載。</p> <p>■過去公演の上演演目の公開は、他公演を含めた電子大福帳の公開として検討中で 30 年度に持越し。</p> <p>■映像公開は未実施。</p> <p>□「神奈川ゆかりの落語家の連続インタビューの人選」「チケット販売オンライン化に関して」「『笑点』ドラマのエキストラ募集」「真打昇進披露口上の執筆依頼」「各新聞社からの演芸に関する取材」など32件以上の相談対応やコーディネートを実施。</p> <p>■かもめスクール(5/29)、野毛まちなかキャンパス(12/4、18)、「落語のトビラ～番外編」(11/26)で職員がレクチャー担当…再掲。</p> <p>□メールマガジンを 36 回配信。チケット発売情報や直近公演の見どころなどを紹介。</p> <p>□Twitter は計 657 回配信。</p> <p>■チケット販売や施設からのお知らせに加えて、野毛や横浜のイベント情報を積極的に配信。</p> <p>・12 月以降は、本日の公演の様子を担当者の目線でレポートし、後パブとしても発信。</p> <p>■「横浜にぎわい寄席」は、全出演者の写真入りの両面チラシに分かりやすく改訂。春</p>
--	---	---

<p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活動を紹介。</p> <p>展示事業・館内演出</p> <p>●展示事業 2階展示コーナーで常設展、企画展、特別展を開催。</p>	<p>わせた仕様を採用。</p> <p>■区民優待デーや沿線住民優待キャンペーンを利用して、にぎわい座について各地域で広報を実施。</p> <p>■財団広報 ACY グループと連携したプレスリリースの実施。</p> <p>□年1回以上開催。</p> <p>□企画展として「中島修展」のほか、写真展や寄席文字展など4回以上開催。</p> <p>□「黄金町バザール2017」サテライト展示</p>	<p>夏の「こども寄席」は、こどもにもわかりやすいように、ルビをふり演目解説も掲載し、近隣小学校でのチラシ配布実施。</p> <p>・「横浜三三づくし」では10か月連続通し公演の一覧チラシを作成。「上方落語会」は、毎回趣向を凝らした上方らしい賑やかなデザインに改訂。</p> <p>■「横浜にぎわい寄席」は、神奈川(7月)、磯子(9月)、鶴見(10月)、中(11月)、保土ヶ谷(12月)でそれぞれの区制90周年区民優待デーを実施、特別価格でチケットを販売。合計928枚販売、49%が初来館者。</p> <p>・広報よこはま各区版や町内会回覧板など、普段行わない広報を実施。</p> <p>・併せて5区の記念事業や区の魅力を紹介する展示をロビーで開催。</p> <p>■「動物園連携」「アートで街コン」「江戸・上方ききくらべ」「新年特集」「9月登竜門シリーズ」でプレスリリース5回実施。</p> <p>□3/13、3/18に開催。5社8人参加。企画公演鑑賞と合わせてチーフプロデューサーから30年度企画について説明。1新聞社から出演落語家へのインタビューが実現。</p> <p>・全ての人が利用しやすいホームページ運用を目指し、現状を調査しその結果を今後の目標とともに「ウェブアクセシビリティ方針」としてホームページに掲載。</p> <p>・「交通アクセス」ページを更新し、より具体的に分かりやすい案内に変更。</p> <p>□開場15周年記念企画展として、</p> <p>・「玉置初代館長メモリアル展示」(4/1～5/31)</p> <p>・「お祝い色紙展」(4/8～12/31)</p> <p>・「チラシと楽屋演題帳(ネタ帳)で振り返る『開場当時の話題公演』」(5/2～5/30)</p>
---	--	---

<p>●館内装飾</p> <p>エントランスほかに季節の装飾等を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティ向上。</p>	<p>□市民団体や近隣学校と連携した特別展を2回以上実施。「野毛大道芸展」など。</p> <p>■常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間6回以上展示替え。</p> <p>□市内のアーティストと連携した館内装飾を1回以上実施。</p>	<p>・「中嶋修 にぎわい座を描く 2017～横浜にぎわい座、始まってから15年」(6/3～7/31)。</p> <p>□企画展として、</p> <p>・「橋流寄席文字招木展～酒匂漂う演題」(8/24～継続中)</p> <p>・「お笑いぱっちり倶楽部写真／鏡味勇二郎個展」(2/1～2/28)</p> <p>・「お笑いぱっちり倶楽部会員写真展」(3/1～3/31)。</p> <p>□特別展、共催展として、</p> <p>・「街のときめき 森直実 大道芸写真展」(野毛大道芸実行委員会との共催、4/4～5/15)</p> <p>・黄金町バザール2017「アーティストが見た黄金町展」(黄金町エリアマネジメントセンターとの共催、8/4～9/13)、</p> <p>・「野毛山動物園のにんきもの展」(野毛山動物園との共催、10/21～12/15)、</p> <p>・「さよなら酉年展」(横浜開港アンデパンダン展との共催、12/16～12/31)、</p> <p>・「干支の絵展～戌年」(横浜開港アンデパンダン展との共催、1/1～1/31)。</p> <p>□季節の館内装飾は毎月展示替えを行い、桜、七夕、ハロウィンなど計13回実施。正月は全館を華やかに装飾。</p> <p>□新たに中嶋修さんの大型作品「招福、万歳」「吉日、笑門来福」「招福、萬歳楽」を、1階、階段踊り場、3階に設置。</p>
---	--	--

#### ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果]</p> <p>地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>・飲み歩きクーポン「野毛通手形」への参加や、共催事業の実施などで今年度も野毛地区と連携した取り組みを継続しました。特に野毛のビッグイベント「野毛大道芸」期間中は、関連の展示や小ホール公演を当館で実施し、街全体の盛り上がりに参加しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●野毛地区の飲食、物販業と</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■6/1～11/30「野毛通手形 season9」を窓</p>

<p>連携したプロモーション活動。</p> <p>●公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施。</p>	<p>通手形」(飲み歩きクーポン)に参加。</p> <p>■公演チケットと野毛通手形等の組み合わせによるタイアップ実施。</p> <p>■大規模合コン「街コン」に参加し、若い新規来館者を獲得し、野毛への誘客も実現。</p>	<p>口で販売、野毛手形提示で公演チケット10%引きサービスも実施。</p> <p>■近隣ハンバーガーショップで公演チケットを提示すると割引になるサービスを実施。10/1～継続中。</p> <p>■「街コン」は「横浜にぎわい寄席」仲入後鑑賞とバックステージツアー、野毛でのパーティー、6/4(20人)、9/3(27人)の計2回開催。</p> <p>・「大人の街コン」は「三遊亭兼好 横浜ひとり会」公演鑑賞とバックステージツアー、ロビーでのパーティー(20人)。</p> <p>・大人のための寄席体験『落語のトビラ3』を3/17開催。野毛の名物料理を囲んで出演者と観客が交流。</p>
<p>○野毛地区主催のイベントへの協力</p>	<p>□野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施5公演以上。</p> <p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p>	<p>□「ジャグリングの現在」「竜宮城 DE オペレッタ」「Ys350 第2回完成記念落語会」「横浜モガンボセッション」「横濱ジャズプロ2017を120%楽しもう!」「第30回野毛地区敬老演芸会」「野毛まちなかキャンパス」「アジアいちご基金チャリティ寄席」「野毛地区カラオケ大会」「吉田中学校演芸鑑賞会」の10公演を共催。</p> <p>■野毛大道芸の期間中、「街のときめき 森直実 大道芸写真展」(4/4～5/15)、小ホール「ジャグリングの現在」「竜宮城 DE オペレッタ」を共催で開催。ポスターやパンフレット配架を積極的に実施。</p>
<p>●MM21 地区からの誘客</p>	<p>■MM21 地区の就業者の交流団体(MMcc、かもめスクールなど)向けにイベント実施し、野毛への誘</p>	<p>□かもめスクールで講座(5/29)「にぎわい座の落語会に行こう」と、三遊亭兼好独演会(6/12)鑑賞会の2回開催。講師はチ</p>

	客を実現。イベント実施3回以上。	ーフプロデューサー。 ・MMcc イベントは不参加。
--	------------------	-------------------------------

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果]</p> <p>地域に根差した施設として、多くの市民の方に支えていただく仕組みとして新たに市民サポーター制度を作り、大衆芸能の楽しさとそれを支えるにぎわい座の役割を広めていただきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>・アートNPOや社会福祉法人と協力し、その専門性やネットワークを活かしたアウトリーチや展示事業を実施しました。個人の市民サポーターとは、公演に関するモニタリングや次年度につながる事業準備を行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営</p> <p>●市民サポーター始動</p> <p>●職業体験、アートマネジメント実習</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。</p> <p>■チケット販売促進プロジェクトの推進。</p> <p>□アウトリーチ、鑑賞者開拓、広報活動等での活動実績5件以上。</p> <p>■学校や学生からの要望があれば積極的に受け入れを実施。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□9月(オリジナルグッズ提案)、11~12月(業務改善)のアンケート2回実施。</p> <p>■にぎわいスタッフ(現役、OB)による団体販売実績146枚。</p> <p>□活動実績8件。</p> <p>・30年度栄区の古民家での落語会の企画</p> <p>・広報物チェック(意見を反映し、文字サイズ、書体を改訂)</p> <p>・公演モニタリング7人実施。</p> <p>・元にぎわいスタッフによる団体での公演鑑賞2件実現。</p> <p>・この他、「干支の絵展」など3つの展示事業、「しあわせサロン落語会」など5回のアウトリーチ事業は、NPO、社会福祉法人のコーディネーターとともに実施。</p> <p>■学校などの要望に応え、児童生徒と大衆芸能をつなぐ試みを実施。</p> <p>・職業体験として、中川西中(6月)、老松中(9月)、六ツ川中(11月)、平楽中(3月)の生徒を受け入れ、演芸場の仕事を体験する機会提供。</p> <p>・県立中学校教員1人の職場体験3日間受け入れ(8月)。</p>

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルやアクセス上の優位性などを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p> <p>[成果の振り返り]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヨコハマトリエンナーレ 2017」のPRやチケット販売などで協力するとともに、黄金町バザール 2017「アーティストが見た黄金町展」を共催し、ヨコハマトリエンナーレの盛り上げに寄与しました。</li> <li>・「横浜ダンスコレクション 2018」（共催）は、3タイトル全8公演を共催し、コンテンポラリーパフォーマンス分野における、のげシャレ（小ホール）の更なる活用につなげました。</li> <li>・横浜能楽堂の協力のもと、狂言と落語のコラボレーション公演（「狂言と落語で楽しむ『宗論』」）を初めて開催し、舞台芸術の楽しみ方のバリエーションを広げました。</li> </ul>		
<p>[取組内容]</p> <p><b>都市政策・施設連携事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「ヨコハマトリエンナーレ 2017」協力</li> <li>●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連企画</li> <li>○「横浜ジャズプロムナード 2017」運営協力</li> <li>○「TPAM-国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2018」協力</li> <li>○「横浜ダンスコレクション 2018」のげシャレ公演共催</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p><b>都市政策・施設連携事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■同時開催される「黄金町バザール 2017」に参加し、ともにヨコハマトリエンナーレ盛り上げに寄与。</li> <li>■外国人による公演モニターを実施。</li> <li>■会場運営チーフに職員を派遣。</li> <li>■TPAM 参加カンパニーに対して小ホールを優先提供し、公演運営に協力。</li> <li>■小ホールを優先提供し、公演運営に協力。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■情報コーナーで、黄金町バザール2017「アーティストが見た黄金町展」開催（8/4～9/13）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よこはま萬々」など3公演を「応援プログラム」としてエントリー。</li> <li>・窓口でトリエンナーレチケットを販売。</li> <li>・情報コーナーにトリエンナーレ広報物の特設コーナー設置。</li> </ul> </li> <li>■フランス公的機関勤務のフランス人による公演モニター実施（2月）。</li> <li>■日本大通り駅チケット引換所に職員1人をチーフとして派遣。</li> <li>■後述の「横浜ダンスコレクション2018」による小ホール利用が大幅に増えたために、その他のTPAM参加カンパニーへの会場提供は実施せず。</li> <li>■「ダンスクロス アジアセレクション」（2/3、4）、「コンペティションⅡ 新人振付家部門」（2/8、9）、「寺田みさこ『三部作』」（2/15、16、17、18）の8日間8公演を共催、</li> </ul>

<p>●アフターコンベンションでの来館促進</p> <p>●修学旅行や横浜観光での企画商品化</p> <p>●地域文化施設との連携…再掲</p>	<p>■会議関係者に対するニーズ調査の実施。</p> <p>□旅行企画商品化3件以上。</p> <p>■狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連携）…再掲</p> <p>■個性的なロケーションでの落語会の実施（黄金町バザール2017参加）…再掲</p>	<p>合計入場者数638人。</p> <p>■横浜観光コンベンションビューローのメールニュース「YCBV 会員ニュース第287号」（1/18配信）で、会議関係者や企業、団体にむけて当館の利活用を提案。</p> <p>「団体鑑賞」「顧客招待、旅行企画等への組み入れ」「研修会、総会での利用」「アフターコンベンションでのご利用」など。</p> <p>□旅行会社による公演申込6件。</p> <p>・その他に、市立中学校の街歩きとにぎわい座での演芸鑑賞の企画制作1件、県内私立中学校の横浜遠足とにぎわい座での貸切寄席体験1件。</p> <p>■「狂言と落語で楽しむ『宗論』」（3/10）は、横浜能楽堂の協力を得て開催。同じ演目を落語、狂言で上演、相違点やそれぞれの魅力を紹介。…再掲。</p> <p>・横浜赤レンガ倉庫1号館「横浜ダンスコレクション2018」共催…再掲</p> <p>■黄金町バザール2017参加事業として出前演芸会「ダメじゃん小出の爆笑！にぎわい！大道芸」を、初黄・日ノ出町地区のかいだん広場で実施（10/29、2回公演）。…再掲。</p>
--	---	--

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="389 1742 828 1937"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341日 (月2回施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10時～22時</td> </tr> </table>	開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)	開館時間	10時～22時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■開館日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="968 1742 1407 1937"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341日 (月2回施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10時～22時</td> </tr> </table>	開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)	開館時間	10時～22時
開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)									
開館時間	10時～22時									
開館日数	341日 (月2回施設点検で休館)									
開館時間	10時～22時									

② 利用料金の改訂	<p>■利用料金について（平日、入場料無料時）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>10:00～12:00</td> <td>13:00～16:30</td> <td>17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </table>		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400	<p>■利用料金について（平日、入場料無料時）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>10:00～12:00</td> <td>13:00～16:30</td> <td>17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </table>		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																
		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																														
	芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																														
		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																														
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																															
③ 貸館の運営体制	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table>		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table>		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100
		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																												
	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																												
	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																												
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																													
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																													
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																													
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																													
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																													
④ 要望・苦情への対応	<p>■小ホールと制作室のセット割引を設定。</p> <p>■利用状況を踏まえ、附帯設備セット内容を変更。</p>	<p>■セット割引の実施は来年度に延期。</p> <p>■附帯設備セット料金化の実施は来年度に延期。</p>																																																
	<p>■管理担当職員1人を貸館メイン担当とし、舞台技術者とともに公演打合や利用相談を担当。</p> <p>■見学対応は全員で実施。</p> <p>■舞台技術スタッフは芸能ホール3人、小ホール1人を基本とし、小ホールは利用状況に応じて2人体制として安全管理に注力。</p> <p>■舞台技術統括責任者は経験10年以上、残り4人も経験5年以上。</p>	<p>■ホールは管理担当職員1名が専任で対応</p> <p>■全員が対応することで急な施設見学に対応。</p> <p>■達成指標の人員にプラスして、初利用の場合は舞台スタッフが1人専任で対応。</p> <p>■統括責任者は経験29年。他も条件を充足。</p>																																																

### イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <p>① 利用率の向上</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□目標利用率</p> <p>芸能ホール：79% 小ホール：68%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：67% 制作室：45%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□利用実績</p> <p>芸能ホール：77% 小ホール：67%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：61% 制作室：40%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p>・全室場で28年度を上回るも目標には達せず。</p>
<p>② 利用の促進</p>	<p>■土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNSで案内。</p> <p>□利用希望者施設見学受け入れ12件以上。</p>	<p>■貸出抽選後の土日祝日のホール空き情報をホームページで10回案内。</p> <p>□50件の施設見学を実施。うち計24件は新規の施設利用希望者の施設見学。</p>

	<p>□平日夜間の利用促進のための夜間見学会の開催 2 回以上</p> <p>□練習室利用促進のため大学のダンスサークル 10 団体以上に宣伝活動実施。</p> <p>□練習室、制作室の紹介ツール作成 2 種以上。</p> <p>□オリジナルグッズ新商品発売開始 1 種類以上。</p> <p>□地域イベントのインフォメーション実施 2 回以上。</p> <p>□のげ茶屋とのタイアップ 2 回以上…一部再掲。</p> <p>□撮影での貸出 年 2 回以上。</p> <p>□経常公演期間中の空き時間の貸出 年 4 件以上。</p> <p>■商業的な撮影協力金の設定。</p> <p>□表方スタッフの配置サービス提供 2 件以上。</p>	<p>□芸能ホール(11/24、2回)、小ホール等地下諸室(1/19、2回)、見学会を実施。合計8組参加。</p> <p>□横浜赤レンガ倉庫1号館の協力により、地下諸室の施設案内、見学会のお知らせのメールニュースを大学ダンス部を含むダンス関係者 552名に配信。</p> <p>□練習室、制作室の紹介ポスターを作成し、野毛大通りに面したポスターケース、野毛ちかみちに掲示。毎月の貸館情報チラシで抽選会と各室場の紹介を盛り込み告知。公募展「サインスポット展」カタログに有料広告出稿。</p> <p>□オリジナル新商品発売は未実施。新たな取扱品として書籍「歌丸ばなし」(桂歌丸)。従来からの手拭いなど全6種類販売。</p> <p>□野毛大道芸(4月)と黄金町バザール(8~11月)開催時期はチラシやマップを集中的に配架。</p> <p>・7、9、10、11、12月の35日間は「横浜にぎわい寄席」区民優待デー専用チケット販売所として活用。928枚の当日券を販売。</p> <p>□タイアップは実施せず。</p> <p>・年間を通じてメディア懇談会(3月)や関西からの出演者へのお弁当を発注し、野毛の味を提供…再掲。</p> <p>□NHK「ファミリーヒストリー」(歌丸館長出演)、BS日テレ「笑点スペシャルドラマ『桂歌丸物語』」、NHKワールド「海外向け番組」ほかの計7回貸出。</p> <p>□貸切公演、番組収録など経常公演期間中の空き時間帯に7件貸出。</p> <p>■「商業か否か」の要件ではなく、フリースペース等で行う撮影についての撮影協力金を設定。館長室でのテレビ番組収録の実績1件。</p> <p>□7月芸能ホールの落語会(貸館)でのスタッフ配置1件実施。</p>
③	グッズの販売	
④	1 階エントランスの活用	
⑤	3 階売店との連携	
⑥	新たな貸出プランの開始	
⑦	新たな利用者サービスの開始	

ウ 組織的な施設運営

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]																																																												
<p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p>	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="512 255 954 750"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>管理運営1、事業1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>3人2ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人1ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>30人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	管理運営1、事業1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	3人2ポスト	公演表方チーフ	1人	2人1ポスト	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="1045 255 1487 750"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>運営。事業</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>2人1.5ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人(1ポスト)</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>27人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	運営。事業	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	2人1.5ポスト	公演表方チーフ	1人	2人(1ポスト)	にぎわいスタッフ	27人	
項目	人数	備考																																																												
館長	1人	非常勤																																																												
副館長	1人	課長補佐級																																																												
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																																																												
チームリーダー	1人	係長級																																																												
担当リーダー	2人	管理運営1、事業1																																																												
職員	4人	管理2、事業2																																																												
アルバイト	2人	3人2ポスト																																																												
公演表方チーフ	1人	2人1ポスト																																																												
にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数																																																												
項目	人数	備考																																																												
館長	1人	非常勤																																																												
副館長	1人	課長補佐級																																																												
チーフプロデューサー	1人	課長補佐級・専門職員																																																												
チームリーダー	1人	係長級																																																												
担当リーダー	2人	運営。事業																																																												
職員	4人	管理2、事業2																																																												
アルバイト	2人	2人1.5ポスト																																																												
公演表方チーフ	1人	2人(1ポスト)																																																												
にぎわいスタッフ	27人																																																													
<p>② 施設の安全管理を実現するシフト配置</p>	<p>■勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:30～18:15） 最少2人</li> <li>B 勤務（13:15～22:00） 最少2人</li> </ul> </li> <li>・受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況による</li> <li>B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況による</li> <li>C 勤務（17:45～22:00） 人数は状況による</li> </ul> </li> </ul>	<p>■勤務体制は2シフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <p>《基本的なパターン》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:30～18:15） 最少2人</li> <li>B 勤務（13:15～22:00） 最少2人</li> </ul> </li> <li>・受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:45～13:55） 人数は状況による</li> <li>B 勤務（13:45～17:55） 人数は状況による</li> <li>C 勤務（17:45～22:00） 人数は上京による</li> </ul> </li> <li>・舞台技術スタッフ（委託）：利用状況による</li> </ul>																																																												
<p>③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成</p>	<p>■大衆芸能分野のプロデューサーを配置。 チーフプロデューサー、アシスタントプロデューサー（事業担当職員）各1人を配置し、中期的に育成。</p>	<p>■大衆芸能の専門家であるチーフプロデューサー1名配置。「アシスタントプロデューサー」は、財団の人事制度変更により今年度は空席。</p>																																																												
<p>④ その他の人材育成、チームワーク醸成</p>	<p>■市民サポーターや地域連携推進のため、職員がファシリテーターとしての役割を發揮。</p> <p>■研修参加や資格取得を奨励。</p>	<p>■教育委員会との連携事業「はまっこ未来カンパニープロジェクト」では、事業目的を達成するためのプログラムを提案。結果だけでなくプロセスを重視した提案に注力。</p> <p>■職員、にぎわいスタッフが市主催の研修（映像記録、普通救命2回）を受講。職員1人がサービス介助士の再講習を受講し、資格を再取得。</p>																																																												

	<p>■特定の課題、テーマについて全職員が意見を言える環境づくり。</p>	<p>■防災については全職員からの意見を集約。事業、業務の担当の枠を越えてプロジェクトチームを作り、課題解決に対応。</p> <p>・ポイントカードリニューアル実施</p>
--	---------------------------------------	--

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 個人情報保護・情報公開	<p>■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</p> <p>■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックの徹底。</p> <p>■入場券販売に票券管理システムを導入し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。</p>	<p>■個人情報取扱いに関する個別の研修を実施。個人情報に関する事故は発生せず。</p> <p>・「区民優待デー」チラシ掲載の施設のURL誤記載発生。</p> <p>■ファックスと郵送のダブルチェックは遺漏なく実施。</p> <p>■平成28年5月に票券管理システムを導入以降、顧客（購入者）情報はセキュリティの高い外部サーバーで管理。</p>
② 人権尊重	<p>■人権研修への参加、職場内での研修実施。</p> <p>□にぎわいスタッフ向け接遇研修実施（年2回以上）</p>	<p>■職員が財団主催の人権啓発研修を受講。</p> <p>□にぎわいスタッフ向けの接遇研修を別メニューで2回実施（9/20、2/21）。</p>
③ 環境への配慮	<p>■施設の利用状況を細目に確認しながらの空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。</p> <p>■新たにゴミ処理有料化を開始し、ゴミの軽減と持ち帰りを促進。</p>	<p>■必要時以外の消灯やその日の天候に合わせた空調の細かい設定により省エネを目指した。</p> <p>・一方で過去の節電対策で消灯していた一部の廊下等については、利用者の安全確保の観点から、増灯。</p> <p>・電気料金値上げの影響で光熱水費は前年度比13%増。</p> <p>■貸館利用者のゴミ処理有料化実施については来年度に持ち越し。</p>
④ 市内中小企業優先発注	<p>市内中小企業者への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 90%以上</p> <p>□修繕・備品の買い替え 90%以上</p> <p>□印刷物 80%以上</p>	<p>市内中小企業への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 91%</p> <p>□修繕・備品買替 80%</p> <p>□印刷物発注率 86%</p>

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 施設及び設備の維持保全及び管理	<p>■建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記された保全管理及び点検の遺漏ない実施。</p> <p>■委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。</p> <p>□設備不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価 4 以上。</p>	<p>■保全管理、点検は遺漏なく実施。</p> <p>■委託業者による設備系、消防系の目視点検は毎日実施。</p> <p>□設備不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p>□来館者アンケートにおける施設快適性評価 4.48。</p>
② 小破修繕の着実な実行	<p>■優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。</p>	<p>■19件2,062千円の修繕、11件2,901千円の更新を実施。故障対応（空調機温度調整器交換、芸能ホール楽屋空調メンテナンス、汚水溝内フロート交換など）のほか、施設の美観向上（大看板更新）も実施。</p> <p>[その他の改修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下2階の携帯電話の電波が届かない状態を解消するためのアンテナ設置を電話事業者1社とともに実施。</li> <li>・管理組合によるビル全体の大規模修繕（5～2月）に協力。管理組合や工事業者と連携し、利用者、来館者に支障がないように注力し、事故なく工事終了。</li> </ul>

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応	<p>□施設管理者有責による人身事故ゼロ。</p> <p>□サービス介助士資格取得者在籍 1 人以上。</p> <p>■職員及び委託業者による巡回やモニタリングにより、危険、要介護者を早期に発見し、適切に対応。</p> <p>■施設の利用状況に合わせ、楽屋管理口のにぎわいスタッフが常駐し、開施設及び管理を実施。</p>	<p>□施設管理者有責の人身事故は発生せず。本人事由による怪我、事故についても報告なし。</p> <p>□サービス介助士資格取得者1人在籍。</p> <p>■巡回や監視カメラによるモニタリングを適切に実施。日頃から窓口スタッフに館内巡回や防災設備の観察を呼びかけ。</p> <p>■朝礼でその日のスケジュールに合わせた楽屋管理口へのスタッフ配置を確認して、適宜実施。</p>

② 感染症対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■職員及び委託業者による巡回で異常を早期に発見。</li> <li>■汚物処理は感染症を念頭におき、効果的に実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■来館者が体調不良により嘔吐した場合は、清掃スタッフが適切な消毒薬を使用した清掃を実施。</li> <li>■窓口スタッフのマスク着用を奨励し、スタッフと来館者の健康管理に注力。</li> </ul>
③ 緊急時の体制、連絡体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ローテーション勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応。</li> <li>■自主事業や観客の多い貸館公演の日は、出勤職員を増やして対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出勤者の上席者を責任者と明確化。</li> <li>■勤務表作成時にその日の催事に必要な人数を決めて、出勤者数を決定。</li> </ul>

#### ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 危機管理マニュアルの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■現行マニュアルの検証と改訂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防災訓練に合わせて「災害時行動シート」を作成し、訓練に活用。</li> </ul>
② 避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>□異なる設定で全員職員参加の避難訓練実施 年2回以上。うち1回は町内会やマンション住民も交えて実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□全職員、スタッフ参加で全3回実施。</li> <li>・第1回(5/19)：「小ホール貸館 地震・津波編」</li> <li>・第2回(9/20)：中消防署指導による通報、AED訓練、「小ホール貸館 地震・津波編」、マンション住民1人参加。</li> <li>・第3回(2/21)：座学、「小ホール自主 地震・津波編火災編」。</li> <li>・通常開館時にミニ防災訓練を計8回実施。</li> </ul>
③ 帰宅困難者及び避難者の受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>■非常時には一時滞在施設・避難受入施設と同等の対応を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■備蓄品の更新実施。</li> </ul>

#### (4) 収支について

##### ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 利用料金収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用率および収入目標の達成 芸能ホール 79%、小ホール 68%、練習室 67%、制作室 45% 収入計 20,800,000 円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□利用率および収入実績 芸能ホール 77%、小ホール 67% 練習室 61%、制作室 40% 収入計 18,910,100 円</li> </ul>
② チケット受託販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>■チケット受託販売手数料の改訂</li> <li>□受託実績 24 公演以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■チケット受託販売手数料の改訂は未実施。</li> <li>□受託実績41公演</li> </ul>

<p>③ 自主事業収入の増収</p>	<p>■WEB申込みなどチケット販売方法の変更</p> <p>□入場料収入 130,003,000円達成</p> <p>■団体誘致用広報チラシ作成</p>	<p>■平成28年5月末に票券管理システムを導入し、同時に会員制度を開始。30年3月末現在の会員登録数は11,443人。券売全体の41%がインターネットによる。24時間予約が可能となり、購入者の利便性が大幅に向上。販売状況確認やお客様からの問合せにスムーズに対応できるようになった。</p> <p>□入場料収入 142,485,000円達成。</p> <p>■在庫を使用し、増刷や新規作成は行わず。</p>
<p>④ 協賛金の獲得</p>	<p>□団体販売実績 月平均8団体以上</p> <p>□協賛（現物協賛を含む）3件以上</p>	<p>□団体販売実績 月平均6.2団体（団体利用は増えているが、窓口で直接購入の場合はカウント不可のため報告値は減少）。</p> <p>□チケットホルダーへの広告協賛1件。</p>
<p>⑤ オリジナル商品開発および販売</p>	<p>□商品売上 20万円以上。</p> <p>□オリジナルグッズ新商品 1種類以上</p>	<p>□商品売上293,171円。</p> <p>□オリジナルグッズ新商品販売は未実施。</p>
<p>⑥ テレビ番組収録の誘致</p>	<p>□経常公演のテレビ収録 年間6回以上</p>	<p>□「名作落語の夕べ」ほか全7回収録。</p>
<p>⑦ 経費削減</p>	<p>■入札、見積もり合わせの徹底</p> <p>■計画的なチラシ発送による郵送料削減</p>	<p>■同月内の同一人、法人への支払いは可能な限りまとめて実施し、振込手数料を削減。</p> <p>■発送を月2回に決め、効率的にチラシを配布。</p>
<p>⑧ コスト意識</p>	<p>■シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減</p>	<p>■接客能力の高い人材を表方チーフとして採用し、これまで職員のみが担当していた業務の担い手に。年間185公演の表方チーフを委ね、職員の負担を軽減。</p>

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

## 平成29年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	209,704,000		209,704,000	209,704,000	0	横浜市より
利用料金収入	20,800,000		20,800,000	18,910,100	1,889,900	施設利用料、附帯設備利用料
自主事業収入	135,303,000		135,303,000	146,985,404	11,682,404	公演チケット収入、講座料収入、貸切公演等の受託料収入ほか
雑入	1,870,000	0	1,870,000	2,876,464	1,006,464	
印刷代	20,000		20,000	23,550	3,550	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	240,000		240,000	367,932	127,932	3階売店及び自動販売機売上手数料
本部繰入金収入			0	807,702	807,702	機能向上のための資金投入(業務用トランシーバー更新・追加)
その他(協賛金、事業負担金等)	1,610,000		1,610,000	1,677,280	67,280	「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料、ほか
収入合計	367,677,000	0	367,677,000	378,475,968	10,798,968	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	100,274,000	0	100,274,000	99,511,292	762,708	
給与・賃金	83,723,000		83,723,000	84,208,307	485,307	館長を含む。事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ給与
社会保険料	8,569,000		8,569,000	8,875,498	306,498	健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料、労災保険料
通勤手当	4,797,000		4,797,000	4,506,592	290,408	
健康診断費	110,000		110,000	26,876	83,124	健康診断、福利厚生費
勤労者福祉共済掛金			0	48,000	48,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,075,000		3,075,000	1,846,019	1,228,981	
事務費	4,201,000	0	4,201,000	6,953,935	2,752,935	
旅費	180,000		180,000	92,829	87,171	業務出張費
消耗品費	1,001,000		1,001,000	455,484	545,516	施設運営に係る文具、用紙、消耗品購入※修繕パーツ等は管理費-修繕費
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	150,000		150,000	266,498	116,498	封筒等の増刷、印字
通信費	800,000		800,000	865,962	65,962	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	1,000,000	0	1,000,000	109,661	890,339	※一部、事務費-リース料に仕訳変更
横浜市への支払分	160,000		160,000	162,466	2,466	目的外使用料(3階売店、2階グッズ販売、自動販売機)
立替金の戻入				120,528	120,528	
その他	840,000		840,000	67,723	772,277	NHK受信料、CATV契約(負担分)、PCソフトライセンス料
備品購入費	700,000		700,000	2,901,927	2,201,927	設備・備品更新 ※修繕実績の一部
図書購入費			0	43,918	43,918	参考図書、新聞
施設賠償責任保険	70,000		70,000	53,290	16,710	
職員等研修費	50,000		50,000	4,320	45,680	資格取得・維持(サービス介助士)
振込手数料	150,000		150,000	77,436	72,564	信金振込手数料
リース料			0	912,992	912,992	PC、複合機、印刷機、AED、玄関マットレンタル
手数料	100,000		100,000	184,317	84,317	支払手数料、産廃処理料(日常/大型)、クリーニング代ほか
施設広報費			0	688,060	688,060	施設広告掲載、施設販促物作成、施設ホームページwebアクセシビリティ調査 ほか
雑支出(渉外費)			0	237,900	237,900	真打昇進祝い、供花等
地域協力費			0	59,341	59,341	町内会費、神奈川観光協会年会費 ほか
事業費	119,127,000	0	119,127,000	130,077,331	10,950,331	
自主事業費	119,127,000		119,127,000	130,077,331	10,950,331	出演料、広報物制作費、票券システム管理料、販売手数料ほか
管理費	113,284,000	0	113,284,000	110,609,814	2,674,186	
光熱水費	17,500,000	0	17,500,000	17,332,638	167,362	
電気料金	12,500,000		12,500,000	12,523,019	23,019	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
ガス料金	3,300,000		3,300,000	2,978,604	321,396	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
水道料金	1,700,000		1,700,000	1,831,015	131,015	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
清掃費	12,000,000		12,000,000	10,553,004	1,446,996	専有部清掃費 ★ビル大規模修繕期間中の減額調整(減額)あり
修繕費	1,580,000		1,580,000	2,062,428	482,428	修繕委託、修繕パーツ等の調達 ※設備・備品更新は事務費-備品購入費
機械警備費	24,000,000		24,000,000		24,000,000	※専有部管理費に合算
舞台技術費			0	22,861,440	22,861,440	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	40,204,000	0	40,204,000	39,818,304	385,696	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
専有部管理費	40,204,000		40,204,000	39,818,304	385,696	専有部の設備管理費、警備費、機械警備費、清掃費ほか
共益費	18,000,000		18,000,000	17,982,000	18,000	ビル共用部管理費、害虫駆除費
公租公課	7,521,000	0	7,521,000	9,694,589	2,173,589	
事業所税			0	0	0	
消費税	7,421,000		7,421,000	9,667,000	2,246,000	
印紙税	100,000		100,000	0	100,000	契約書用 ※前年度会計で支払済み
その他(法人税、電波利用料)			0	27,589	27,589	法人市民税、法人県民税、業務用トランシーバー電波利用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	23,270,000	0	23,270,000	23,270,000	0	
本部分	23,270,000		23,270,000	23,270,000	0	(前年度事業経費-事務局繰入金)×7%
支出合計	367,677,000	0	367,677,000	380,116,961	12,439,961	
差引	0	0	0	△ 1,640,993	1,640,993	